

# 一戸建てにルーフバルコニーや庭園も

## 屋上の活用多様化

新築の二戸建て住宅で、屋上の活用が多様化している。太陽光パネルの設置が主流だが、庭や遊び場を作る動きも出てきた。防水技術の向上や規

制緩和で、一般住宅でも都市部の限られたスペースを利用できるようになったためだ。  
(塩津あかね)

住宅分譲のヤマト住 販売した。同社で住宅建(神戸市中央区)は、を建設する客のうち、2011年に二戸建て 4分の1は屋上庭園付「屋上庭園のある家」きを選び、今年は前年を発売。これまでに兵に比べ20%近い増加と庫県を中心とする近畿 なる90〜95棟の販売をや首都圏で300棟を見込んでいる。



ヤマト住建が販売する屋上庭園付きの住宅。バーベキューもできる(同社提供)

### 防水技術向上、規制緩和で加速

住宅部分はヤマト住 1万戸の新築一戸建て建が建設し、屋上部分は、7割が太陽光パネルの設計・施工はイノベル付きたが、部屋の延ーション(大阪市)が長のように最上階を上手掛ける。敷地約11う「ルーフバルコニー」5平方メートルの一戸建てで、なども人気があるとい約54平方メートルの屋上う。設置でき、価格は約1 積水ハウス(大阪市)00万円から(税別)。では、太陽光パネルとタイルや人工芝を敷い 屋上庭園を併設すること、椅子やテーブル、狭い土地で庭を設けるバーベキューの道具な 余裕がないなどの事情を置く家庭が多い。「子どもを安心して遊ばせることができ、坂つに屋上庭園を提案し道の多い神戸では夜景 ている。規制緩和で、屋上付が楽しめるという声が多 住宅でも、欠陥が見多い(ヤマト住建) った場合保険で 補償されるようになった。大手住宅メーカーの 大和ハウス工業(大阪) 太陽光発電の買いで、ルーフバルコニ 取り価格が下落していーや屋上庭園付きの家 販売している。昨年 用の多様化の背景にあ度、全国で販売した約 るとみられる。

### 住宅メーカーなど販売